

高松市国分寺町の写真家二ノ宮博之さん(84)が、ライフワークとして撮りためた県内の写真から約80の祭礼の写真を厳選し、写真集「和っしょい讃岐」を出版した。季節ごとに並べたものと、獅子舞、奴、太鼓台などに分類したものの2部作で、著作権フリーのデータも用意。「たくさんの人に見てもらい、香川県への恩返しになれば」と話している。



写真集「和っしょい讃岐」2部作を出版した二ノ宮さん

高松の二ノ宮さんが写真集

二ノ宮さんは1941年、高松市生まれ。明治大カメラクラブのキャプテンを務めるなど写真に傾倒していたが、現役の経営者時代は忙しく撮影から遠のいていた。ところが2006年、会社が倒産。聞き納得。「その帰りに、自分に

香川の祭り 80厳選一冊に

希望者にPDF「観光客誘致に使って」

はまだ写真がある。写真で世間の役に立ちたいと考えた」という。

それ以来、県内の風景や催し物などを盛んに撮影。約17年で15万点を超える写真を撮り、県の観光写真ダウンロードサイトに無償で提供するなどの活動をしてきた。

今回は撮りためた中から、躍動感ある獅子舞や、神社ごとに特色のある奴行列、地域の伝統を受け継いだ太鼓台など、約80の祭礼を選出。約600点をオールカラーで紹介している。獅子舞は油単や頭の種類で分類するコーナーを設けるなどの工夫も凝らした。

50冊を制作し、県立図書館などに寄贈するほか、希望者には無償でPDFデータを提供する。「地域振興と観光客誘致のため、情報紙、SNS(交流サイト)などにどんどん使ってほしい」と話している。

問い合わせはメール〈nino miya.hiroyuki@email.com〉。